

FC-700

データコレクター

取扱説明書



FC-700 取扱説明書

2506 (1A)

Contents

1. ご使用になる前に	9
1.1 FC-700 の構造図	9
1.1.1 バッテリー収納部とカードスロット	10
1.1.2 USB-C ポート	10
1.2 始めに行なっていただきたいこと	10
1.2.1 バッテリーカバーの 取り外し	10
1.2.2 SIM/SD カードの取り付け/取り外し	11
1.2.3 バッテリーの取り付け	12
1.2.4 バッテリーの充電	13
1.2.5 ハンドストラップの取り付け	14
1.2.6 電源オン、電源オフ、再起動	15
2. 標準機能	18
2.1 オペレーティングシステム	18
2.2 プリインストールアプリ	18
2.3 アプリのインストール	18
2.4 デジタルアシスタント	18
2.5 プログラムブルキー	19
2.6 Android ナビゲーション	19
2.7 ディスプレイとタッチスクリーン	19
2.7.1 ホーム画面	20
2.7.2 タッチスクリーン	20
2.7.3 タッチスクリーンの無効化または有効化	20
2.8 電源管理	21
2.8.1 バッテリーのホットスワップ	21
2.8.2 バッテリーの充電	22
2.8.3 長期保管のためのバッテリーの取り外し	22
2.8.4 ロックしたユニットの取り扱い	22
2.9 LED インジケーター	23
2.10 データストレージオプション	23

2.10.1	フラッシュデータストレージ	23
2.10.2	マイクロ SD ストレージ	23
2.11	コンパス、加速度計、および ジャイロ스코プ	23
2.11.1	コンパスの校正	24
2.12	Bluetooth ワイヤレス通信	24
2.13	Wi-Fi ワイヤレスネットワーキング	25
2.14	セルラーネットワーク	25
2.15	近距離無線通信 (NFC)	26
2.16	GNSS ロケーション	26
2.16.1	GNSS の精度	26
2.17	カメラ	27
2.17.1	カメラとビデオの設定	27
2.17.2	GNSS メタデータ	27
2.18	指紋認証	28
2.19	ファイルの共有	28
2.19.1	PC への USB-C ケーブルの接続	28
2.19.2	USB-C ストレージデバイス	28
3.	保管、メンテナンス、およびリサイクル	30
3.1	2 週間を超える FC-700 の保管	30
3.2	FC-700 の洗浄	30
3.2.1	タッチスクリーン	30
3.2.2	ケース、バンパー、接続モジュール	30
3.3	FC-700 とバッテリーのリサイクル	31
4.	製品に関する警告	33
4.1	バッテリーに関する警告	33
4.2	USB 充電器とケーブルに関する警告	33
4.3	認証および規格	34
4.3.1	米国	34
4.3.2	カナダ	36
4.3.3	欧州連合	39
5.	FC-700 の仕様	42

本製品をご使用前に、「安全にお使いいただくために」(別紙)を必ずお読みください。

使用者について

- この取扱説明書は、測量について知識がある方を対象に書かれています。操作・点検・調整などは、この取扱説明書を熟読し内容を理解した上で、測量について知識がある方の指示に従って行ってください。
- 測量作業の際は保護具(安全靴、ヘルメットなど)を着用ください。

商標

Topcon および Topcon Positioning Systems は、Topcon Corporation の商標です。FC-700 データコレクタは、Topcon Corporation の登録商標です。Windows、Windows 11、および Windows のロゴは、米国ならびに他の国における Microsoft Corporation の商標および/または登録商標です。Android™ は Google LLC の商標です。Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有しており、Topcon Positioning Systems, Inc.は、ライセンスに基づきこれらのマークを使用しています。VELCRO®は、Velcro IP Holdings LLC の登録商標で、同社の許可を得て使用されています。本マニュアル内に記載されているその他の製品および会社名は、それぞれの所有者の商標です。

輸出規制について

お買い求め頂いた商品、技術あるいはソフトウェア(以下、「本製品」という)の輸出、再輸出、移転等にあたっては、輸出国の輸出管理法令(日本からの輸出の場合は「外国為替及び外国貿易法:外為法」)および関連する国際間の輸出並びに再輸出規制等の遵守が義務付けられています。

トプコンから本製品をご購入頂いたお客様におかれましては、本製品の海外への輸出、再輸出、移転について輸出許可が必要か否かお客様ご自身で判断され、必要に応じて輸出許可証や他の公的な認証等の取得、および税関への届け出等を実施してください。当該政府からの必要な輸出許可を取得しないまま、あるいは輸出管理関係当局からの認証等を受けないままに本製品をキューバ、イラン、北朝鮮、シリア、ロシア、ベラルーシ、ウクライナのクリミア地域、ウクライナにおける親ロシア派支配地域[ドネツク人民共和国(自称)及びルハンスク人民共和国(自称)を含む]へ輸出することはできませんので、その旨ご承知置ください。(上記禁止仕向地リストは、2023 年1 月1 日時点での規制内容に基づいています。また、禁止仕向地リストは、輸出管理当局により予告無しに変更されることがありますので、お客様におかれましては、本製品の輸出、再輸出または国内移転の前に、全ての関係する輸出管理当局の最新のウェブサイトをご確認ください。

さい。) また、以下のURL で指定された制限顧客リスト掲載の顧客に対する本製品の引渡し、使用許諾、移転、あるいは再輸出は法律で禁じられています。

<http://www.bis.doc.gov/index.php/policy-guidance/lists-of-parties-of-concern>

https://www.eeas.europa.eu/eeas/european-union-sanctions_en

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

また、大量破壊兵器として規制されているミサイル、無人航空機、核爆発装置、あるいは原子力推進プロジェクト、生物・化学兵器等の製造・開発・使用、もしくは禁止されているその他のいかなる最終用途の為に本製品を使用することは法律で禁じられています。詳細については次のURL を御参照ください。

<https://www.bis.doc.gov/index.php/documents/regulation-docs/418-part-744-control-policy-end-user-and-end-use-based/file>

海外への輸出について

- 海外への輸出や持ち出しをする場合、その国での法令や規制（電波法・安全規格・EMC（電磁両立性）等）がありますが、これに限定されません）を遵守する必要がありますので、ご注意事項を。

あらかじめ最寄りの営業窓口にご相談ください。




- 国や地域によっては、法令や規制により、製品の持ち込みができない場合があります。製品の持ち込みは、お客様の責任で行ってください。

免責事項について

- 本製品の使用または使用不能から生じた付随的な損害（データの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の説明に反した方法で海外への輸出や持ち出しを行って生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 雨天、強風、高温、多湿等、異常な条件下での保管、使用により本製品に生じた損害に対し、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の改造に起因する故障は、補償の対象外です。
- 本書に記載した注意事項や警告事項は、すべての起こりうる事象を網羅したものではありません。

マニュアルの表記規則

表記規則	説明	例
太字	ボタンまたはキーコマンド	表示 を選択する。
イタリック	リンクまたは相互参照	詳細情報は 第3章 をご覧ください。

アイコン	目的
 備考	システム設定、メンテナンス、セットアップに関する注意事項の詳細情報。
 注意	軽微な人的被害、システムのダメージ、データの喪失または保証の消失につながる可能性がある行動についての通知。
 警告	人的被害または物的損害につながる可能性がある行動についての通知。

1

ご使用になる前に



1. ご使用になる前に

Android™ 対応のデータコレクター「FC-700」には、Bluetooth、Wi-Fi、2つのプログラムブルキー、指紋認証、GNSS/GPS レシーバが搭載されています。標準付属品には、リチウムイオン電池、ハンドストラップとアタッチメントループ、T6 ドライバが含まれます。サブメーター GNSSアンテナは拡張オプションです。

1.1 FC-700 の構造図



1 電源ボタン

2 音量アップ

3 音量ダウン

4 プログラムブルキー P1

5 近接センサー

6 環境光センサー

7 16 MP フロントカメラ

8 RGB LED インジケーター

9 フロントスピーカー

10 指紋認証

11 プログラムブルキー P2

12 カメラフラッシュ/フラッシュライト

13 48 MP リアカメラ

14 拡張ポッド・アタッチメント

15 リアスピーカー

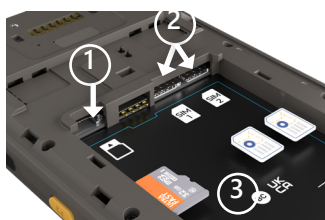
16 バッテリーカバーロック

17 バッテリーカバー

18 マイク

19 ハンドストラップ取り付けループ

1.1.1 バッテリー収納部とカードスロット



- 1 マイクロ SD カードスロット
- 2 2つの Nano SIM スロット
- 3 バッテリー収納部

1.1.2 USB-C ポート



- 4 USB-C ポート

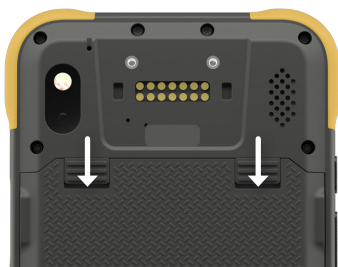
1.2 始めに行なっていただきたいこと

FC-700 がお手元に届きましたら、初めてお使いになる前に、本項に記載されている作業を行ってください。

1.2.1 バッテリーカバーの 取り外し

データコレクターの背面からバッテリー収納部にアクセスします。

1. 両方のバッテリーカバーロックを下にスライドします。



2. カバーを外します。

ハンドストラップが取り付けられている場合は、上部の取り付けループからストラップを緩めて、バッテリーカバーを取り外します。



注意

バッテリーカバーが取り付けられていない場合、FC-700 は水やほこりから保護されません。



1.2.2 SIM/SD カードの取り付け/取り外し

Nano SIM カードや micro SD カードを使用する場合は、バッテリーを取り付ける前、または別のタイミングで取り付けてください。カードを挿入または取り外すには、バッテリー収納部ラベルの図の方向にカードを向けます。



- カードをスロットに挿入します。
- カードをスロットから押し出して、取り出します。

1.2.3 バッテリーの取り付け

1. リチウムイオンバッテリーを、バッテリー収納部に入れます。

バッテリーを斜めに持ち、バッテリー上部の溝を内部のタブの位置に合わせながら、バッテリー上部をコ収納部の中に入れます。バッテリーの下端を収納部の中に押し込みます。



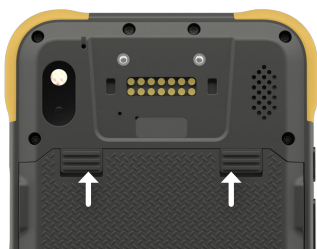
2. バッテリーカバーにある3つのタブを、下側のストラップ取り付けループの周りの溝に差し込みます。



3. カバーの底部からカバーロックに向かって、カバーの側面に沿ってカバーのタブを所定の位置に押し込みます。



4. バッテリーカバーのロックをロック位置までスライドします。



備考

NFC を機能させるには、バッテリーカバーのラッチをロック位置にする必要があります。

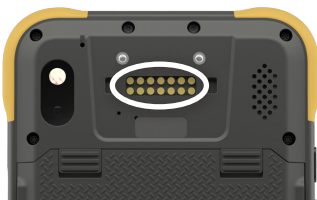
1.2.4 バッテリーの充電

1. USB 充電器とケーブルを差し込み、FC-700 に接続します。

バッテリーが低充電から満充電になるにつれ、RGB LEDインジケータの色が赤から黄色、緑に変化します。4～6 時間、室温でバッテリーを充電します。[2.8.2 バッテリーの充電 22ページ](#)を参照してください。

1.2.5 ハンドストラップの取り付け

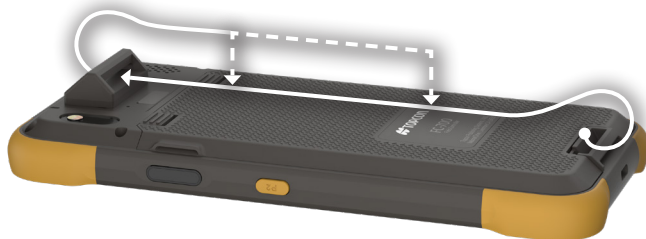
1. シリコンプラグを取り外します。



2. 上部ハンドストラップ取り付けループを、拡張ポッド・アタッチメントの上に置きます。
3. タブをスロットの中に押し込みます。
4. 2本のネジを使用して、上部ハンドストラップ取り付けループを FC-700 にネジで固定します。



5. VELCRO®ブランドのファスナーを下に向けた状態でハンドストラップを取り付けます。ハンドストラップを底部の取り付けループに通します。

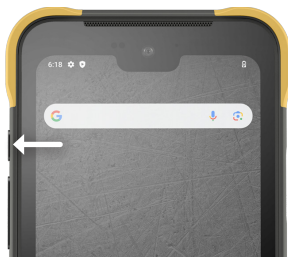


6. ハンドストラップを上部の取り付けループに通します。
7. ハンドストラップを上部の取り付けループに折り返して固定します。

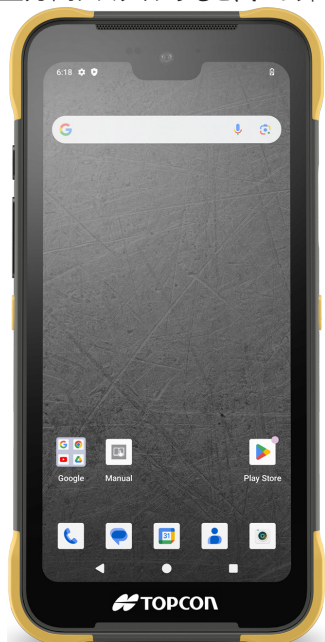
1.2.6 電源オン、電源オフ、再起動

FC-700 の電源をオンにするには：

1. 電源キーを 3 秒間長押しします。

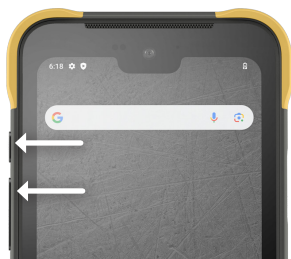


2. 上方向にスワイプすると、ホーム画面が表示されます。



電源をオフにするには：

1. 電源と音量アップボタンを両方押します。



2. **「電源オフ」** をタップします。

データコレクターを再起動するには、**「電源オフ」** ではなく **「再起動」** をタップします。

2

標準機能



2. 標準機能

この章では、FC-700 の全モデルに搭載されている標準機能について説明します。

2.1 オペレーティングシステム

この FC-700 には、Android 14 オペレーティングシステムが搭載されています。デバイス固有のドライバー、ファームウェア、アプリを <https://mytopcon.topconpositioning.com/na/support> からアップデートします。

2.2 プリインストールアプリ

FC-700 には組込み済みのアプリケーションが付属しています。組込み済みのアプリケーションをすべて表示するには：

1. ホーム 画面から上方向にスワイプします。

2.3 アプリのインストール

ホーム 画面にある Google Play を使用して、追加のアプリをダウンロードしてください。

Google Play を使用せずに Android アプリをインストールする場合は、PC と USB ケーブルを使用してデータコレクターに接続し、apk ファイルをサイドロードします。

1. FC-700 から PC に USB ケーブルを接続します。
2. **〔設定〕** > **〔電話情報〕** の順に移動して、**〔ビルド番号〕** を 7 回タップします。
3. デバイスの PIN を入力します。PIN は、データコレクターを最初に設定したときに作成されます。
4. **〔設定〕** > **〔システム〕** > **〔開発者オプション〕** の順に移動して、**〔USB デバッグ〕** を選択します。
5. **〔設定〕** > **〔接続されたデバイス〕** > **〔USB〕** の順に移動して、**〔ファイル転送〕** をタップします。

USB ケーブルが PC と FC-700 の両方に 接続されている場合のみ、ファイル転送オプションが表示されます。

ファイル転送を設定すると、apk ファイルを PC から FC-700 に移動できます。データコレクターに apk ファイルが保存されたら、そのファイルを開いてインストールプロセスを完了します。

2.4 デジタルアシスタント

電源ボタンを長押しすると、デジタルアシスタントが起動します。

2.5 プログラムブルキー

FC-700には2つのキーがあり、このキーは「設定」 > 「プログラム可能なキー」から、プログラムできます。デフォルトではP1キーを押すと**ホーム**画面が表示されます。P2 キーを押すと、最近使用したアプリが表示されます (アプリ選択機能)。いずれかのキーに、以下の機能/値を割り当てることができます。

なし	Enter	スペース
戻る	タッチスクリーン 有効/無効	バックスペース
ホーム		カメラキャプチャ
アプリケーション選択	スクリーンショット	スキャン
音量をアップ	タブ	0～9の数字
音量を下げる	左	. (ピリオド)
輝度アップ	右	-
輝度ダウン	アップ	F1～F12
メニュー	ダウン	

2.6 Android ナビゲーション

FC-700 では、デフォルトの Android ナビゲーションを使用します。



2.7 ディスプレイとタッチスクリーン

明るさ、壁紙、スリープの間隔、フォントサイズ、画面の方向などディスプレイの設定を調整するには、「設定」 > 「ディスプレイ」の順に移動します。

2.7.1 ホーム画面

ホーム画面は次の要素から構成されています。



2.7.2 タッチスクリーン

FC-700 のタッチスクリーンは、さまざまな設定で機能します。濡れた状態で画面が動作するように変更する必要はありません。

2.7.3 タッチスクリーンの無効化または有効化

FC-700 のタッチスクリーンは無効できます。これは、アプリの実行中にタッチスクリーンの偶発的な起動を避けながら画面を見たい場合に便利です。タッチスクリーンは洗浄のときにも無効にできます。

タッチスクリーンを無効にするには、プログラマブルキーの 1 つをプログラムして、この機能を使用できるようにする必要があります。

設定 > プログラマブルキー:

1. プログラムするキー (P1 または P2) を選択します。
2. **［タッチスクリーン有効/無効］** をタップします。

これで、プログラムしたキーがタッチスクリーンのオン / オフスイッチとして機能します。

タッチスクリーンが無効のときは、 アイコンがステータスバーに表示されます。

2.8 電源管理

FC-700 では、リチウムイオン充電式バッテリーが使用されています。バッテリーには、次の2つのオプションがあります。

- 4500 mAh、フル充電で標準条件下で8時間以上持続
- (オプション) 8300 mAh、フル充電で標準条件下で18時間以上持続

バッテリーの使用時間は、背面ライト、開いているアプリ、GNSS の使用、無線の使用状況により異なります。



注意

一次バッテリーが取り付けられていない状態で、バッテリーカバーを取り付けしないでください。これを実行すると、データコレクターはすぐにオフになり、保存されていないデータが失われます。



備考

FC-700 用に設計された認定販売店のバッテリー以外は使用しないでください。未承認のバッテリーを使用すると、性能に影響が出る可能性があり、製品の保証が無効になります。

FC-700 のバッテリーは過充電にはなりませんが、長期間充電器に接続したままにしておくと、リチウムイオンバッテリーが損傷する恐れがあります。

2.8.1 バッテリーのホットスワップ

内蔵の二次バッテリーにより、データ損失やデータコレクターの損傷なしに、最長5分間のバッテリー交換時間を確保できます。バッテリーのホットスワップを選択すると、データコレクターの画面が暗くなり、通知が表示されます。



注意

一次バッテリーの交換または取り外し中は、USB 充電器とケーブルで FC-700 に電源を供給しないでください。

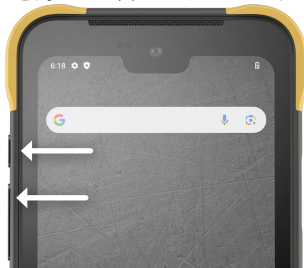
2.8.2 バッテリーの充電

リチウムイオンバッテリーは室温（20°C または 68°F）で最も効果的に充電できます。ただし 5°～45° C（41°～113° F）の範囲であれば充電は可能です。バッテリーは、この温度範囲外では充電されない可能性があります。

2.8.3 長期保管のためのバッテリーの取り外し

長期保管のために FC-700 の電源をオフにする方法：

1. バッテリーを 30～50% まで充電/放電します。
2. 電源キーと音量アップキーの両方を押します。



3. **「電源オフ」** をタップします。
4. バッテリーを取り出します。乾燥した涼しい場所に保管してください。

保管したバッテリーは3か月後に点検してください。バッテリー残量が 30% 未満になった場合は、30% 以上になるまで充電してください。

FC-700 の電源を入れる準備ができれば：

1. バッテリーを交換します。
2. USB 充電器とケーブルを差し込み、FC-700 に接続します。
3. FC-700 の電源をオンにします。

2.8.4 ロックしたユニットの取り扱い

FC-700 が全く反応しない場合：

1. 電源キーと音量アップキーを押します。
2. **「再起動」** をタップします。

データコレクターを再起動しても反応しない場合は、強制的にシャットダウンします。

1. 電源キーを 18 秒間長押しします。

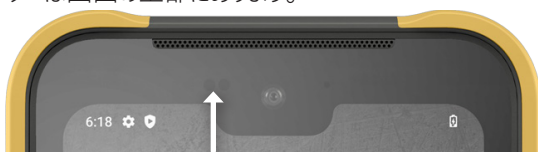


警告

ユニットの動作中に強制終了すると、デバイスに損傷を与えることがあります。通常の状況で FC-700 の電源を切るときは、強制終了は行わないでください。

2.9 LED インジケーター

LED インジケーターは画面の上部にあります。



LED カラー	意味
赤色、点灯	バッテリー充電量は 20% 未満です。 充電器が接続されています。
赤色、点滅	バッテリー充電量は 20% 未満です。 充電器が接続されていません。 画面オン
黄色、点灯	バッテリー充電量は 21～90% です。 充電器が充電器が接続されています。
緑色、点灯	バッテリー充電量は 90% 以上です。 充電器が接続されています。

FC-700 が充電されると、LED は赤から黄色、そして緑へと変化します。画面を 45～60° の角度で見ないと、黄色と緑色を区別することが難しい場合があります。

2.10 データストレージオプション

2.10.1 フラッシュデータストレージ

FC-700 の内部ストレージは128GBです。ストレージの容量と用途（アプリや画像の保管など）を確認するには、**〔設定〕** > **〔ストレージ〕** の順に移動します。

2.10.2 マイクロ SD ストレージ

FC-700 には、最大 512GB のマイクロ SD ストレージが搭載されています。

2.11 コンパス、加速度計、および ジャイロスコプ

FC-700 にはコンパス、加速度計、ジャイロスコプが搭載されています。加速度計は、データコレクターが平坦に置かれていない場合でも、コンパスが方向を決定するのをサポートします。ジャイロスコプは、角度の変化を感知します。コンパス、加速度計、およびジャイロスコプは、他のユーザーアプリケーションにも使用できます。

2.11.1 コンパスの校正

データコレクターのパフォーマンスを維持するため、コンパスを定期的に校正してください。

コンパスを校正するには：

1. コンパスを使用するアプリを開きます。
2. FC-700 を空中で動かして、さまざまな方向と角度に向きを変えてみます。横に8の字を描くように、データコレクターを前後に10秒ほど動かすと、上手に校正できます。



2.12 Bluetooth ワイヤレス通信


FC-700 には Bluetooth 無線技術が組み込まれています。試験済み動作範囲は 200 メートル (650 フィート) ですが、実際の範囲はペアリングした両方のデバイスの出力によって異なります。FC-700 を Bluetooth デバイスでテストした場合、実際の動作範囲は、テスト済み動作範囲を大幅に超えることがあります。

Bluetooth テクノロジーを使用して、FC-700 と別のデバイスとのペアリングを行うには、次の手順を実行します。

1. 両方のデバイスをオンにします。
2. FC-700 の画面の上から下にスワイプします。
3. **Bluetooth** アイコンを長めにタップします。
4. 接続されたデバイスから
 - デバイスを初めてペアリングする場合は **「新しいデバイスをペアリングする」** をタップします。
 - 以前にペアリングしたデバイスの場合は **「すべて表示」** をタップします。
5. 「新しいデバイスをペアリング」から、ペアリングするデバイスを選択します。
6. 質問されたら、**「ペアリング」** をタップします。

新しくペアリングされたデバイスが、**接続されたデバイス**画面に表示されます。

ペアリングしたデバイスを切断するには：

1. FC-700 の画面の上から下にスワイプします。
2. **Bluetooth** アイコンを長めにタップします。
3. **「接続されたデバイス」** から、切断するデバイス名の横にある  をタップします。
4. **「デバイスの詳細」** から、**「切断」** をタップします。

その他のデバイス設定は、手順1〜3に従って検索および調整できます。

Bluetooth では、[設定] > [接続されたデバイス] > [Bluetooth] からでも、追加情報にアクセスできます。

2.13 Wi-Fi ワイヤレスネットワーキング

FC-700 には、には Wi-Fi アンテナが組み込まれており、2.4、5、または 6 GHz Wi-Fi ネットワークに接続できます。

Wi-Fi に接続するには、データコレクターが Wi-Fi アクセスポイントの範囲内にある必要があります。

FC-700 を Wi-Fi ネットワークに接続するには：

1. 画面の上から下にスワイプします。
2. [インターネット] をタップします。
3. Wi-Fi トグルが有効になっていることを確認します。
4. 利用可能なネットワークのリストから、Wi-Fi ネットワークの名前をタップします。
 - 要求された場合は、ネットワークのパスワードを入力します。

FC-700 は、作成された Wi-Fi ネットワーク接続を記憶します。Wi-Fi をオンにすると、FC-700 は利用可能なWi-Fiネットワークのエリアスキャンを自動的に開始します。

Wi-Fi では、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [インターネット] からでも、追加情報にアクセスできます。

- FC-700 が現在接続されているネットワークをタップすると、ネットワークの変更などの追加情報が表示されます。

2.14 セルラーネットワーク

FC-700 には、4G LTE と 5G セルラーネットワーク (WWAN) に接続するためのセルラーネットワークが組み込まれています。データコレクターには 2 枚の nano SIM カードを同時に収容できるため、ネットワークをすばやく切り替えることができます。

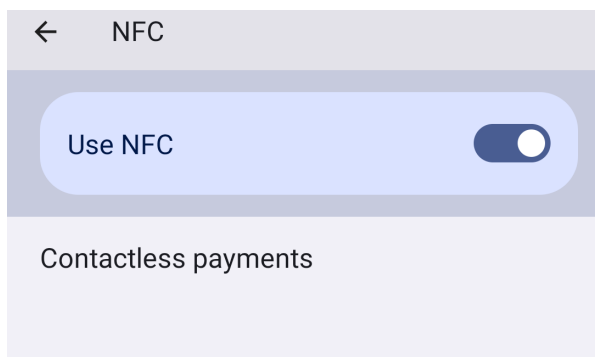
セルラーネットワークに接続するには：

1. 携帯電話会社から提供された nano SIM カードをインストールします。[1.2.2 SIM/SD カードの取り付け/取り外し 11ページ](#)を参照してください。
2. [設定] > [ネットワークとインターネット] > [SIMカード] > [携帯電話ネットワークの名前] の順に移動して、セルラーネットワークの設定にアクセスします。

携帯電話会社が特定の APN 設定を要求している場合は、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [SIMカード] > [セルラーネットワークの名前] > [アクセスポイント名] の順に移動して、アクセスできます。

2.15 近距離無線通信 (NFC)

FC-700 には NFC 機能が組み込まれています。NFC を有効または無効にするには、**[設定]** > **[接続されたデバイス]** > **[接続設定]** > **[NFC]** の順に移動します。



備考

NFC を機能させるには、バッテリーカバーのラッチをロック位置にする必要があります。

2.16 GNSS ロケーション

FC-700 にはデュアル周波数 (L1/L5) GNSS レシーバが内蔵されていますが、デフォルトでは Android 位置情報サービスを使用します。カメラを含めた各種アプリで、GNSS レシーバが提供する位置情報を使用できます。

GNSS レシーバを有効にするには：

1. **[設定]** > **[位置]** の順に移動して、**[位置情報を使用する]** を選択します。

必要に応じて、特定のアプリが位置データにアクセスできるようにします。

位置データは、Android 位置情報サービスまたは内蔵のデュアル周波数 GNSS レシーバによって提供され、データコレクターが縦向きまたは横向きのどちらの状態でも動作します。FC-700 を縦向きに持つと、精度が若干向上します。

2.16.1 GNSS の精度

内蔵の GNSS レシーバは、2～5メートルの精度を提供します。アンテナエリアの上に手または他の物体を置くと、精度が低下します。アンテナとサテライトの間に物が多いほど、精度は低くなります。

2.17 カメラ

FC-700 には 2 つの内蔵カメラが搭載されています。

- フロントカメラ：16 MP
- リア：48 MP

カメラを起動するには、次のいずれかを実行します。

- カメラアイコンをタップします。
- 電源キーを 2 回押します。

2.17.1 カメラとビデオの設定


デフォルトでは、アプリを開くとカメラは写真モードになります。

ビデオに切り替えるには：

1. カメラアイコンから上方向にスワイプします。
2. **【ビデオ】** をタップします。

ビデオからカメラに切り替えるには、手順 2 でカメラを選択して、手順を繰り返します。


設定を変更するには：

3.  アイコンを長めにタップします。
4. 必要に応じてカメラ設定を変更します。

2.17.2 GNSS メタデータ

FC-700 では、位置メタデータを使用して画像にジオタグを付けることができます。

ジオタグを有効にするには：

1. カメラアプリを開きます。
2.  アイコンを長めにタップします。
3. **【位置タグ付け】** を選択します。
4. カメラにデバイスの位置情報へのアクセスの許可の有無を確認されたら、必要なオプションを指定します。

ジオタグを有効にした後、**【設定】** > **【アプリ】** > **【カメラ】** > **【権限】** に移動するか、カメラアプリの設定で位置情報のタグ付けの選択を解除することで、ジオタグを管理（オフまたはオン）できます。

2.18 指紋認証

FC-700 には、デバイス側面の P2 キーの上に指紋認証が内蔵されています。データコレクターを初めてセットアップするときに、このスキャナを設定するように求められます。

指紋を追加または削除するには、**〔設定〕** > **〔セキュリティとプライバシー〕** > **〔デバイスのロック解除〕** > **〔指紋〕** の順に移動します。

指紋を追加するときは、指示に従ってください。

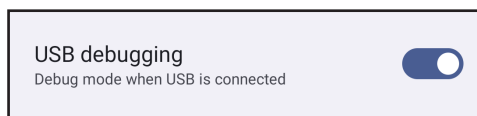
2.19 ファイルの共有

他の Android デバイスと同様、FC-700 ではファイルを簡単に共有できます。

2.19.1 PC への USB-C ケーブルの接続

USB-C ケーブルを使用して、PC と直接ファイルを共有できます。FC-700 をケーブルで PC に接続したら、次の操作を行います：

1. **〔設定〕** > **〔電話情報〕** の順に移動して、**〔ビルド番号〕** を 7 回タップします。(これにより、データコレクターで開発者モードが有効になります)
2. **〔設定〕** > **〔システム〕** > **〔開発者オプション〕** の順に移動して、**〔USBデバッグ〕** を有効にします。



3. **〔設定〕** > **〔接続されたデバイス〕** > **〔USB〕** の順に移動して、**〔ファイル転送〕** をタップします。

2.19.2 USB-C ストレージデバイス

USB-C ストレージデバイスを使用してファイルを共有するには：

1. USB-C ポートを使用して、USB-C ストレージデバイスを FC-700 に接続します。
2. **〔設定〕** > **〔電話情報〕** の順に移動して、**〔ビルド番号〕** を 7 回タップします。(これにより、データコレクターで開発者モードが有効になります)
3. **〔設定〕** > **〔接続されたデバイス〕** > **〔USB〕** の順に移動して、**〔ファイル転送〕** をタップします。

ファイル共有のオプションには他に、Bluetooth、クラウドサービス、アプリ同期、電子メールがあります。

3

保管、メンテナンス、お よびリサイクル



3. 保管、メンテナンス、およびリサイクル

本章の指示に従って、FC-700 のメンテナンスおよびリサイクルを適切に行ってください。

3.1 2 週間を超える FC-700 の保管

データコレクターを 2 週間以上保管するには、次の手順を実行します。

1. バッテリーを 30～50% まで充電します。
2. 実行中のプログラムをすべて閉じます。
3. 電源メニューが表示されるまで電源ボタンを長押しし、[電源オフ] を選択して、データコレクターの電源をオフにします。



備考

バッテリーを取り外す前に、FC-700 の電源をオフにします。データコレクターには限られた電力を供給するための内蔵バッテリーが搭載されていますが、データを確実に保存するために電源をオフにしてください。

4. バッテリーを取り外します。
5. バッテリーを乾燥した涼しい場所に置きます。

3.2 FC-700 の洗浄

バッテリーカバーがしっかり取り付けられていることを確認します。

3.2.1 タッチスクリーン

1. 緩やかな流水でタッチスクリーンをすすぎ、泥や砂、その他の傷がつくものを緩めて洗い流します。
2. マイクロファイバークロスに温水か低刺激洗浄液をつけ、タッチスクリーンをそっと拭きます。
3. 水ですすぎ、マイクロファイバークロスを使って乾かします。



注意

研磨パッド、毛ブラシ、刺激の強い洗浄液はタッチスクリーンに使用しないでください。

3.2.2 ケース、バンパー、接続モジュール

ケース、バンパー、接続モジュールの洗浄には温水、低刺激石鹸、柔らかい毛ブラシを使用します。



警告

洗浄の際は、データコレクターに高圧水流を直接当てないでください。この行為によって、デバイス内に水が入り込み、保証が無効になる恐れがあります。



注意

自動車ブレーキクリーナー、イソプロピルアルコール、キャブレタークリーナーなど、一部の洗浄液に触れるとデータコレクターに損傷を与える可能性があります。クリーナーの強度または影響が不確かで

ある場合は、テストとして目立たない場所に少量を使用します。視覚的な変化が明らかになった場合は、既知の低刺激洗浄液で即座にすすぎ、洗ってください。

3.3 FC-700 とバッテリーのリサイクル

FC-700 が寿命に達した場合、一般廃棄物と一緒に廃棄することはできません。電気機器および電子機器のリサイクルを行う指定の回収場所へ持ち込み、責任を持って廃棄してください。

FC-700 のリチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能です。ゴミや一般廃棄物システムには廃棄しないでください。

4

製品に関する警告



4. 製品に関する警告

FC-700 と付属品を安全に使用するため、以下に示す警告に従ってください。

4.1 バッテリーに関する警告



警告

このデバイスには、充電可能なりチウムイオンバッテリーが付属しています。発火ややけどの危険性を減らすために、分解する、叩く、穴を開ける、外付け端子をショートさせる、火の中にバッテリーを投入するなどの行為をしないでください。

解体するまたは開ける、押しつぶす、曲げるまたは変形する、穴を開けるまたは寸断する、などの行為をしないでください。

改造するまたは再製作する、バッテリーに異物を挿入しようとする、水やその他の液体に浸けるまたは晒す、火災、爆発、またはその他の危険に晒す、などの行為をしないでください。

システムのバッテリーは、指定された目的にのみ使用してください。

バッテリーは、この標準によってシステムに適合とされている充電システムでのみ使用してください。適合でないバッテリーまたは充電器の使用は、火災、爆発、漏出、またはその他の危険を招く恐れがあります。

バッテリーを短絡させたり、金属製の導電物をバッテリーターミナルに接触させたりしないでください。

バッテリーは、システムに適合とされている別のバッテリーのみと交換してください。

適合でないバッテリーの使用は、火災、爆発、漏出、またはその他の危険を招く恐れがあります。

使用済みのバッテリーは、地域の規制に従って迅速に廃棄してください。

子供によるバッテリーの使用には、監視が必要です。

バッテリーを落下させないでください。特に硬い面にバッテリーを落とし、破損の恐れがあるときは、サービスセンターへ検査に出してください。

不適切なバッテリーの使用は、火災、爆発、またはその他の危険を招く恐れがあります。



警告

間違った種類のバッテリーと交換すると、爆発の危険があります。

4.2 USB充電器とケーブルに関する警告



注意

人身障害や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- USB 充電器とケーブルは、手が届きやすい場所にあるコンセントに接続してください。
- USB 充電器のコードやその他のケーブルの上には物を載せないでください。また、コード

やケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。

- コードやケーブルは引っ張らないでください。USB 充電器とケーブルをコンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。
- バッテリーの充電を最適化するために、出力定格が 5 V DC および 3 A の USB 充電器とケーブルのみを使用してください。ただし、出力が 18 W までの充電器であれば、どの充電器でも使用できます。USB 充電器とケーブルは、国内で認められた試験機関によって認定またはリストに記載されている必要があります。

4.3 認証および規格

4.3.1 米国

FCC 規則 47 CFR 15.19(a)(3) に従って、以下の声明がデバイス上またはユーザードキュメンテーションに表記される必要があります。

この装置は、FCC 規制パート 15 に準拠しています。この装置の使用には、次の 2 つの条件が適用されます。

- このデバイスは、有害な干渉の原因となってはならない。
- このデバイスは、予想外の動作の原因となる干渉を含めて、どのような干渉も受け入れなければならない。

FCC 規則 47 CFR 15.105(b) に従って、ユーザーは、この装置がテストの結果、FCC 規制パート 15 による Class B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されていることを通知される必要があります。これらの制限は、居住地区での有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この装置は無線周波エネルギーを発生、使用し、また無線周波エネルギーを放出する可能性があるため、説明書に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な電波干渉を与える原因となる場合があります。しかしながら、特定の設置状況では干渉を発生しないという保証はありません。本機器によりラジオやテレビの受信に有害な干渉が起こる場合（これは、機器の電源を切ってから入れ直すと判断できます）、ユーザーは、以下のいずれかまたは複数の対策によって、干渉の改善を試みることが求められます。

- 受信アンテナの向きや場所を変える。
- 機器とレシーバとの間隔を広げる。
- レシーバが接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 代理店または経験のあるラジオ / テレビ関係の技術者に相談する。

FCC 規則 47 CFR 15.21 に従って、ユーザーがデータコレクターに対して製造元が明示的に承認していない変更や改変を行った場合、ユーザーの機器操作の権限が無効になる可能性があることを、ユーザーに対して通知する必要があります。

この装置では、認可されたアクセサリのみを使用することができます。一般に、ケーブルについては、高品質なシールドケーブルで、正しく終端された、2 m 以下のものを使用する必要があります。この製品に認可された USB 充電器とケーブルには、専用の電磁波障害保護機能が組み込まれています。変更や代用はしないでください。

このデバイスは、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に使用したりしないでください。

5.15～5.25GHz 帯域での操作は屋内使用のみに制限されます。

ドローンを含む無人航空機システムの制御または通信のための使用は禁止されています。このデバイスを、ドローンを含む無人航空機システムの制御または通信には使用することは禁止されています。

無線周波数曝露情報 (SAR)

このデバイスは、電波への曝露に関する政府の要件を満たしています。

このデバイスは、米国政府の連邦通信委員会によって設定された無線周波数 (RF) エネルギーへの曝露に対する放出制限を超えないように設計および製造されています。

無線デバイスの曝露基準では、比吸収率または SAR と呼ばれる測定単位が採用されています。FCC によって定められた SAR 制限は 1.6W/kg です。*SAR のテストは、FCC が承認した標準動作位置を使用して実施され、テストされたすべての周波数帯域でデバイスは認証された最大出力レベルで送信されます。SAR は認証された最大出力レベルで決定されますが、デバイスの動作中の実際の SAR レベルは最大値を大幅に下回る場合があります。これは、ネットワークに到達するために必要な電力のみが使用されるように、デバイスが複数の電力レベルで動作するように設計されているためです。一般的に、無線基地局のアンテナに近づくほど、出力は低くなります。

FCC に報告されたこのモデル デバイスの最高 SAR 値は、このユーザー ガイドに記載されているように耳に装着してテストした場合で 1.12 W/kg、身体に装着した場合で 0.74 W/kg です (身体に装着した場合の測定値は、利用可能な付属品と FCC 要件に応じて、デバイスモデルごとに異なります)。

各種デバイスや異なる位置での SAR レベルには差異がある場合がありますが、すべて政府の要件を満たしています。

FCC は、このモデルのデバイスについて、報告されたすべての SAR レベルが FCC の RF 曝露ガイドラインに準拠していると評価し、機器認証を付与しました。このモデルデバイスの SAR 情報は FCC に記録されていて、「FCC ID: VSFAR4」で検索すると、www.fcc.gov/oet/ea/fccid の Display Grant 項で見つかります。

身体に装着した状態での操作について、このデバイスは金属を含まない付属品を使用し、体から 1.0cm 以上離れた位置に配置して使用する場合に、FCC RF 曝露ガイドラインを満たすことがテストで確認されています。他の付属品を使用した場合、FCC RF 曝露ガイドラインへの準拠が保証されない可能性があります。身体装着型付属品を使用せず、デバイスを耳に当てていない場合は、デバイスの電源をオンにしたときにハンドセットを身体から 1.0 cm 以上離してください。

4.3.2 カナダ

本デバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に準拠しています。操作には、次の 2 つの条件が適用されます。

1. このデバイスが干渉の原因とならないこと
2. このデバイスは、デバイスの予想外の動作の原因となる干渉を含めて、どのような干渉も受け入れること

このClass Bデジタル機器は、カナダ ICES-003に準拠しています。

このデバイスは、カナダ政府産業省の RSS-310 に準拠しています。本デバイスが有害な干渉を起こさないことが、動作の条件となります。

このデバイスとアンテナは、テスト済みの内蔵無線機を除き、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に使用したりしないでください。

放射線被曝に関する声明

ポータブルデバイス (身体から 20cm 未満の距離、0.76W/kg)

本製品は、カナダの無制御環境におけるポータブル RF 曝露制限に準拠しており、本マニュアルで説明されているような意図された操作において安全です。製品をユーザーの身体からできるだけ離すか、そのような機能が利用可能な場合はデバイスの出力電力を低く設定したりすることで、RF 曝露をさらに低減できます。

このデバイスは、身体との近距離での一般的な動作における IC SAR 値への準拠についてテスト済みです。テストされたレベル以下の RF 曝露を確保するには、ユーザーの体とデバイスの間に 1.0cm 以上の距離を保つ付属品を、この機器と一緒に使用してください。これらの付属品には金属部品が含まれてはいけません。体の近くで使用する付属品がこれらの要件を満たさない場合、SAR 基準に適合しない可能性があるため、使用を避けることをお勧めします。

WLAN 5GHZ デバイス

注意

1. 同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減するために、5150～5250 MHz 帯域で動作するデバイスの使用は、屋内のみに制限されています。
2. 5250～5350 MHz および 5470～5725 MHz 帯域のデバイスに許可されるアンテナの最大利得は、EIRP 制限値に従うものとします。
3. 5725～5825 MHz 帯域のデバイスに許可されるアンテナの最大利得は、ポイントツーポイントおよび非ポイントツーポイント操作に指定された EIRP 制限に適宜準拠する必要があります。
4. 第 6.2.2(3) 項に規定されている EIRP 仰角マスク要件に準拠するために必要な最悪の傾斜角を明確に示す必要があります。<DFS デバイス搭載 5G B2 のみ>
5. また、ユーザーには、5250～5350 MHz および 5650～5850 MHz の周波数帯域は高出力レーダーが一次ユーザー（優先ユーザー）として割り当てられており、これらのレーダーが LE-LAN デバイスに干渉および/または損傷を与える可能性があることを通知する義務があります。

通信機器

この製品は、該当するカナダ産業省の技術仕様を満たしています。リンガー等価番号 (REN) は、電話インタフェースに接続できるデバイスの最大数を示します。すべてのデバイスの REN の合計が 5 以下であるという要件を満たす限り、インタフェースの終端は任意のデバイスの組み合わせで構成できます。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

1. l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
2. l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Cet appareil est conforme à la norme RSS-310 d'Industrie Canada. L'opération est soumise à la condition que cet appareil ne provoque aucune interférence nuisible.

Cet appareil et son antenne ne doivent pas être situés ou fonctionner en conjonction avec une autre antenne ou un autre émetteur, exception faites des radios intégrées qui ont été testées.

La fonction de sélection de l'indicatif du pays est désactivée pour les produits commercialisés aux États-Unis et au Canada.

Déclaration d'exposition aux radiations

Appareil portable (<20 cm du corps 0,76 W/kg)

Le produit est conforme aux limites d'exposition pour les appareils mobiles RF pour les États-Unis et le Canada établies pour un environnement non contrôlé.

Le produit est sûr pour un fonctionnement tel que décrit dans ce manuel. La réduction aux expositions RF peut être augmentée si l'appareil peut être conservé aussi loin que possible du corps de l'utilisateur ou que le dispositif est réglé sur la puissance de sortie la plus faible si une telle fonction est disponible.

Ce dispositif a été testé pour la conformité avec les valeurs SAR à un fonctionnement typique près du corps. Pour assurer que les niveaux d'exposition aux radiofréquences en deçà des niveaux testés, utiliser des accessoires avec cet équipement pour maintenir une distance de séparation minimale de 1.0 cm entre le corps de l'utilisateur et l'appareil. Ces accessoires ne doivent pas contenir des composants métalliques. Il est possible que les accessoires utilisés près du corps qui ne répondent pas à ces exigences ne sont pas compatibles avec les limites SAR et il est conseillé d'éviter de les utiliser.

Dispositif WLAN 5GHz

Précautions:

1. les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5250 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux;
2. le gain maximal d'antenne permis pour les dispositifs utilisant les bandes 5250-5350 MHz et 5470-5725 MHz doit se conformer à la limite de p.i.r.e.;
3. le gain maximal d'antenne permis (pour les dispositifs utilisant la bande 5725-5825 MHz) doit se conformer à la limite de p.i.r.e. spécifiée pour l'exploitation point à point et non point à point, selon le cas.
4. les pires angles d'inclinaison nécessaires pour rester conforme à l'exigence de la p.i.r.e. applicable au masque d'élévation, et énoncée à la section 6.2.2 3), doivent être clairement indiqués.<DFS デバイス搭載 5G B2 のみ>

5. De plus, les utilisateurs devraient aussi être avisés que les utilisateurs de radars de haute puissance sont désignés utilisateurs principaux (c.-à-d., qu'ils ont la priorité) pour les bandes 5250-5350 MHz et 5650-5850 MHz et que ces radars pourraient causer du brouillage et/ou des dommages aux dispositifs LAN-EL.

Dispositif de télécommunication

Le présent matériel est conforme aux spécifications techniques applicables d'Industrie Canada. L'indice d'équivalence de la sonnerie (IES) sert à indiquer le nombre maximal de terminaux qui peuvent être raccordés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut consister en une combinaison

quelconque de dispositifs, à la seule condition que la somme d'indices d'équivalence de la sonnerie de tous les dispositifs n'excède pas cinq.

4.3.3 欧州連合

CE マーク



CE マークの付いた製品は EU 指令 2014/53/EU に準拠しています。

適合宣言

CE マーキングの適合宣言書は、<https://mytopcon.topconpositioning.com/na/support>でご覧になれます。

無線周波数への曝露


欧州の RF 曝露要件に準拠するため、身体に装着した状態での操作中は、アンテナを含むデバイスとユーザーの体との間に 0.5cm 以上の距離を保つ必要があります。

モバイルデバイスの SAR 上限は 2.0 W/kg で、本デバイスの最高 SAR 値は頭部での使用テスト時に 0.734 W/kg、身体での使用テスト時に 1.579 W/kg でした。

5G Wi-Fi 制限

5.15～5.35GHz 帯域での操作は屋内使用のみに制限されます。

周波数帯域	最大出力
LTE バンド 1	23.19 dBm
LTE バンド 3	22.65 dBm
LTE バンド 7	23.20 dBm
LTE バンド 8	23.33 dBm
LTE バンド 20	22.52 dBm
LTE バンド 28	22.74 dBm
LTE バンド 38	23.21 dBm
LTE バンド 40	23.21 dBm
NR N1	23.64 dBm
NR N28	23.43 dBm
NR N41	25.39 dBm
NR N77	27.28 dBm
NR N78	27.27 dBm
Bluetooth 2402～2480 MHz	8.58 dBm
WIFI 2.4G バンド	18.64 dBm
WIFI 5G バンド	17.19 dBm
WIFI 6 GHz RLAN	10.80dBm
NFC 13.56 MHz	-21.01 dBuA/m@10m

	AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK	EE	EL	ES	FI
	FR	HR	HU	IE	IS	IT	LI	LT	LU	LV	MT	NL
	NO	PL	PT	RO	RS	SE	SI	SK	TR	UK		

LVD 03



聴覚障害を防ぐため、長時間にわたって大音量で聴かないください。

5

FC-700 の仕様



5. FC-700 の仕様

機能	仕様
オペレーティングシステム	▪ Android™ 14 GMS
GMS (Google モバイルサービス)	▪ EDLA 認定
プロセッサ	▪ Qualcomm 4490 オクタコア 最大 2.4 GHz
メモリー (RAM)	▪ 8 GB
内部ストレージ (ROM)	▪ 128 GB
SD カードストレージ	▪ 最大 512 GB ▪ ユーザーがアクセス可能なマイクロ SD スロット
ディスプレイ	▪ 通常 500 nits (最小 450 nits) ▪ 画面サイズ (対角) : 159 mm (6.26インチ) ▪ 画面解像度 : 2280 x 1080 FHD+ ▪ 濡れた環境でも使える静電容量式マルチタッチインタフェース ▪ 化学強化ガラス Gorilla® Glass 5
接続性	▪ 4G LTE フォールバック対応セルラー 5G、デュアルナノ SIM スロット ▪ セルラー : LTE-FDD: (B1/B2/ B3/B4/B5/B7/B8/B12/B13/B14/B20/B25/B26/B28a/B66/B71)、LTE-TDD : (B38/B40/B41)、5G : (N1、N2、N5、N41、N66、N71、N77、N78) ▪ Wi-Fi : 6E 802.11 2.4/5 GHz a/b/g/n/ac、802.11 ax ▪ Bluetooth 5.2 ▪ デュアルバンド PS、GLONASS、BDS、Galileo、SBAS、QZSS ▪ NFC ▪ OTG ▪ USB タイプC (5 Gbps、5V 電力供給) :

機能	仕様
耐久性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 侵入保護：IP68 防水・防塵 ■ 動作温度：-20 C ～ 60 C (-4 F ～ 140 F) ■ MIL-STD-810H テスト手順に準拠：以下の手法を採用： <ul style="list-style-type: none"> ■ 500.6 低圧 ■ 501.7 高温 ■ 502.7 低温 ■ 503.7 温度衝撃 ■ 506.6 雨、 ■ 507.6 湿度、 ■ 510.7 砂と塵、 ■ 512.6 衝撃
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重量：325～395 g (0.72～0.87 ポンド) バッテリーと拡張構成によって異なります ■ 寸法 <ul style="list-style-type: none"> ■ 4500mAh バッテリー：174 x 85 x 15 mm ■ (オプション) 8300 mAh バッテリー：174 x 85 x 22 mm ■ ユーザーがプログラムできるボタン 2 個
カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ■ フロント：16 MP ■ リア：48 MP、LED 照明
拡張機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ オプションの 1D/2D バーコードリーダー ■ サブメータ GNSS レシーバ (RTK対応)
バッテリー	<ul style="list-style-type: none"> ■ リムーバブルリチウムイオンバッテリー ■ 充電式リチウムイオンバッテリー： <ul style="list-style-type: none"> ■ 4500 mAh 駆動時間 8時間以上 ■ (オプション) 8300 mAh 駆動時間 18 時間以上 ■ 300 mAhの内蔵バッテリーでホットスワップ可能

機能	仕様
認証および規格	<ul style="list-style-type: none"> ▪ IC/FCC/CE ▪ UKCA ▪ ROHS、REACH、REACH 制限条項、EU POP、WEEE ▪ カリフォルニア州プロポジション 65 ▪ TSCA ▪ Bluetooth SIG ▪ RCM ▪ 日本無線 (TELEC、JATE) ▪ ブラジル ANATEL ▪ SCIP ▪ カナダ禁止法 ▪ ERP、CEC、DOE ▪ PTCRB ▪ グローバル認証フォーラム (Global Certification Forum (GCF)) ▪ AT&T BYOD 認証
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ▪ スピーカー ▪ マイク
GNSS	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 2～5 メートル一般精度* ▪ 重い天蓋下での性能向上 ▪ ファイル形式 NMEA-0183 バージョン 4.11 出力、デフォルト文字列：GGA、GSA、GLL、GSV、RMC、VTG、ZDA、TXT ▪ 72 GNSS トラッキングチャネル
LED インジケーター	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 赤色点灯：バッテリー充電量は 20% 未満です。充電器が接続されています。 ▪ 赤色点滅：バッテリー充電量は 20% 未満です。充電器が接続されていません。画面がオンになっています。 ▪ 黄色点灯：バッテリー充電量は 21～90% です。充電器が接続されています。 ▪ 緑色点灯：バッテリー充電量は 90% 以上です。充電器が接続されています。

*精度は観測条件、マルチパス環境、視野内衛星数、衛星の形状、電離層活動によって左右されます。

機能	仕様
動作保証温度	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 動作時温度：-20°～60° C (-4°～140° F) 注：Bluetooth無線技術の動作温度範囲は -20°～50° C (-4°～122° F) です。 ▪ 保存温度：-30°～60° C (-22°～140° F)
標準構成品	<ul style="list-style-type: none"> ▪ リチウムイオンバッテリー ▪ ハンドストラップとアタッチメントループ ▪ T-6 ドライバー ▪ クイックスタートガイド
別売付属品	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 交換用 4500 または 8300 mAhバッテリー ▪ 交換用 USB 充電器とケーブル ▪ 交換用ハンドストラップ ▪ 交換用ハンドストラップループ ▪ ウルトラクリアスクリーンプロテクター ▪ 外部バッテリー充電器 <p>別売付属品に関する詳細については、営業担当者にお問い合わせください。</p>

索引



索引

あ

アプリ

- インストール 18
- 組込み済み 18

オペレーティングシステム 18, 42

か

カメラ 19, 27

- GNSS メタデータ 27
- 仕様 27, 43

ケアおよびメンテナンス 30

- 洗浄 30
- 保管 30

コンパス 23

- 校正 24

さ

ジオタグ: カメラ > GNSS メタデータを参照

スクリーンショット 19

スピーカー 9, 44

スリープ: 電源 > スリープを参照

センサー

- 加速度計 23
- コンパス 23
- ジャイロスコープ 23

た

タッチスクリーン 19, 20, 42

- 洗浄 30

長期保管 22, 30

ディスプレイ 19, 42

- 無効化または有効化 20

適合宣言 39

電源 21

- 再起動 15
- スリープ 19
- 電源オフ 15
- 電源をオンにする 15

バッテリーの充電 22

動作保証温度 45

は

背面ライト 21

バッテリー

インジケータライト 23

警告 33

仕様 43

使用時間 21

取り付け12

バッテリー充電時の温度 22

保管 30

ホットスワップ 21

リサイクル 31

プログラマブルキー 19

音量 19

スクリーンショット 19

タッチスクリーン 有効/無効 19

ま

マイク 9, 44

ら

リサイクル 31

A

Android 9, 18, 28, 42

B

Bluetooth v, 24, 42

ペアリング 24

L

LED インジケータ 23

S

SD カード 10, 11

U

USB 10, 28

W

Wi-Fi 9, 25

Windows 11 v



商品に関するお問い合わせ
トプコン測量機器コールセンター

☎ **0120-54-1199** (フリーダイヤル)
受付時間9:00~17:00 (土・日・祝日・トプコン休業日は除く)

ホームページ <https://www.topcon.co.jp>

株式会社 **トプコン** 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1

株式会社 **トプコンソキア ポジショニングジャパン**

本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL (03)5994-0671 FAX (03)5994-0672

©2025 TOPCON CORPORATION

ALL RIGHTS RESERVED

無断複写及び転載を禁ず